

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 ぎふモーニングプロジェクト推進事業費（R8分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 長寿社会推進係 電話番号：058-272-1111(内3464)

E-mail : c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 補正要求額 5,718 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 収 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	5,718	2,629	0	0	0	0	0	0	3,089
決定額	3,518	1,529	0	0	0	0	0	0	1,989

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県の65歳以上の人口は59万人（令和7年4月1日現在）で、総人口の3割を占める。今後も高齢化率は上昇する見込みであり、人生100年時代に向け、高齢者が長く健康を保ち続けられるために、意識することなく、介護やフレイル（心身の衰え）を予防し、健康を維持する仕組みづくりが必要である。

(2) 事業内容

全国に誇る本県のモーニング文化を生かし、県内の喫茶店において、モーニングサービスの利用者に楽しみながら体重、歩数、摂取カロリー等の健康データを継続的に記録していただく取組みを実施する。

また、取得した健康データ等から生活や行動の変容を調査し、プロジェクトの有効性を「見える化」することで高齢者の介護やフレイル予防対策につなげていく。

(3) 県負担・補助率の考え方

地域未来交付金を活用

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	300	業務旅費
需用費	112	消耗品48、印刷製本費64
役務費	48	郵送料等
委託料	5, 258	分析、健康管理アプリ利用の費用等
合計	5, 718	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第9期岐阜県高齢者安心計画「高齢者が活躍できる社会の実現」

(2) 国・他県の状況

岐阜県独自の事業である。

(3) 後年度の財政負担

次年度以降は健康データ等の分析・検証を行い、健康福祉施策の基礎資料とする。

(4) 事業主体及びその妥当性

令和7年8月19日に一般社団法人日本セルフケア推進協議会と「ぎふモーニングプロジェクト」推進に関する連携協定を締結し、県と協議会が連携して事業を行う。

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

人生100年時代に向けて、喫茶店に通うことで、食事、運動、ストレスマネジメントを通して、免疫力を高め、意識しなくとも自然と健康になれる仕組みづくりを目指す。

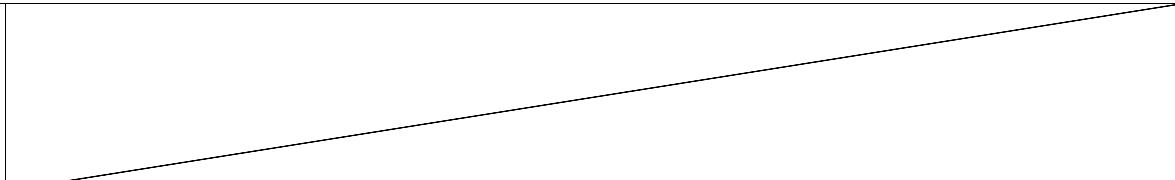
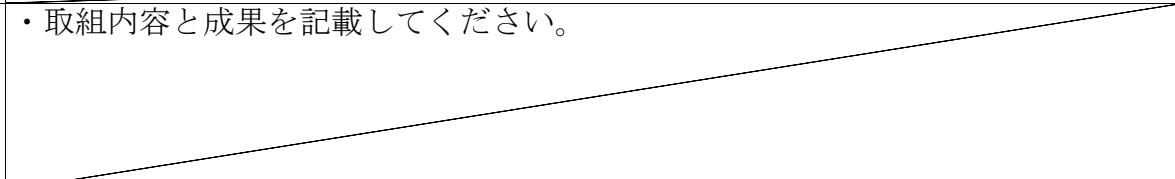
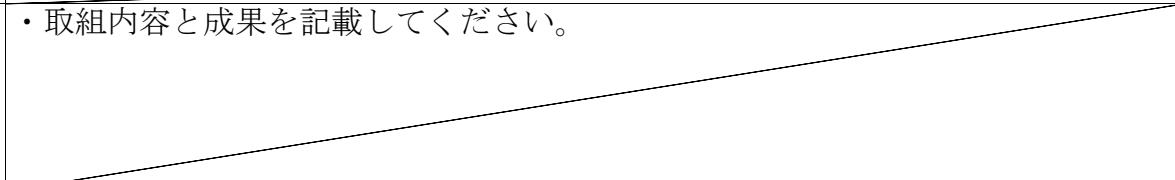
(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

母集団1万人以上の場合に、統計学上必要なサンプル数である約400名を目標に、プロジェクト参加者を募集の上、調査を実施するため、指標設定にはなじまない。

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	・取組内容と成果を記載してください。  指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	・取組内容と成果を記載してください。  指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	人生100年時代に向けて、高齢者の健康増進、健康寿命延伸に向けた取り組みが必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

健康データとの関連性を分析し、本プロジェクトの有効性を「見える化」することで、高齢者のフレイル予防対策につなげる必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
次年度は研究の集計、分析、公表を行い、健康福祉施策への展開を行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	